

多田野小学校

1、地層の観察

(1) 観察する場所

浄土松公園内のキノコ岩附近

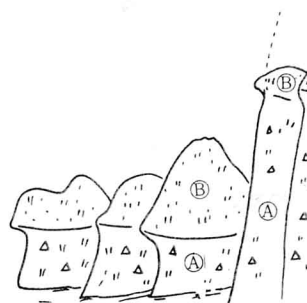
(キノコ岩は天然記念物に指定されているのでハンマーでゴツンしない。)



(2) キノコ岩から離れて、地層全体を観察する。

① キノコ岩の全景が見通せる所から全体をスケッチする。

② キノコの傘が一行に並ぶようにスケッチできたか。また、高さの違うキノコの傘群もあります。キノコの傘までの高さや、キノコ岩の色など気付いたことを書き入れる。



③ キノコ岩付近の岩やがけは、キノコの傘を作っているⒷ地層や、柄を作っているⒶ地層が積み重なってできていることを理解する。

④ Ⓐ層とⒷ層の境は特徴があるのでその境を公園内で追いかけてみよう。地層は水平方向に広がりを持っていることを理解する。

(3) 地層に近づいてその特徴を観察させる。

Ⓐ層には小さい円レキが混じっており、白っぽい粒も含まれた、水中に積ってできた火山灰の地層です。白っぽい粒は火山噴火の際できる軽石と呼ばれる火山噴出物で、この岩石の名は軽石凝灰岩です。

Ⓑ層は火山灰と細粒質の砂とが混じって水中に積もってできた、凝灰岩質細粒砂層です。

このⒶ、Ⓑ層とも白っぽい地層で、地層の色の特徴をいかして、白岩と呼ぶ